

会 議 録

会議名	令和5年度 山陽小野田市かるた振興委員会（第1回）
開催日時	令和5年8月28日（月） 18時～19時10分
開催場所	市役所3階 第2委員会室
出席委員 （10名）	松永 進、時吉 陽子、白石 江里、師井 節子、平原 廉清、高崎 淳子、今村 美智子、久保 久美子、山本 敦士、天尾 昇一
欠席委員 （2名）	高良 哲也、坂井 久美子
傍聴者	なし
担当課及び 出席者	協創部：篠原部長 文化スポーツ推進課：原田課長、別府係長、奥
会議次第	1 辞令交付 2 協創部長挨拶 3 出席者自己紹介 4 議事 （1）委員長及び副委員長の選任について （2）かるた振興に関する今年度の取組について （3）かるた振興に関する来年度の取組について 5 その他 （1）次回の開催予定について
事務局	3 議事 （1）委員長及び副委員長の選任について 委員の互選により 委員長は <u>松永 進委員</u> に決定 副委員長に <u>平原 廉清委員</u> を指名し、決定。 （2）かるた振興に関する今年度の取組について <u>資料1</u> に沿って事務局が説明
委員長	<u>資料1</u> の（6）にある、かるた小冊子の内容について、事務局から（案）があげられているが、これについて委員の皆様からの意見を問う。
委員	令和3年度の「山口ゆめ回廊博覧会 恋すてふかるた」イベントの際に作成したものは、講演のレジメもかねて作成したもので小学生から大学生、高齢者までを対象としている。内容はあくまで

	和泉式部と百人一首のコラボで、今回の小冊子については、かるた行事の折に、学校に配布したり、一般市民の方にも配布したりというのが、当初の目的だと思っている。 すでにある冊子、(一条朝ワールドや和泉式部の代表歌、歌合せや競技かるたのルール、和泉式部伝説)をイラスト表現できれば、冊子としてビジュアルを進化できると思っているのも、もし竜王中学校の生徒が参加できるとしたら、イラストを構成していただけるととてもいい。小倉百人一首の全訳をいれるような、膨大なものにする必要はないと考える。
委員	中学生を関わらせていただけるのであれば、主体性を育むといった点等から良い機会だと思っている。数ページで構わないので担当させていただけると有難い。
副委員長	かるた文化振興の目標・対象はどこか。子どもたちに小倉百人一首の歌をすべて覚えてもらうことなのか。または、全国展開も視野に入れているのか。 私が過去に県外にいたときに小野田市(当時)にかるたクイーンが誕生したというニュースを知った。例えばジャンルは違うが、「俳句甲子園」(会場:愛媛県松山市)は、全国の高校生を対象にしており、参加校も年々増えており、有名である。本市のかるたイベントも将来的に市外や県外に展開すると、町おこしにもつながるのではないかな。
委員	まずは市内の子どもたちからかるたに親しみをもってもらいたい。同時に、今の若い親世代にもかるたに関心を持ってもらいたいのので、小中学校だけでなく、幼・保育園での出前教室を行っている。
委員	小野田高校かるた部は、今年1年生及び2年生の人数が20人程度おり、校内で大会が開けるようにまでになった。かるたをしたいと竜王中学校から小野田高校に入学する生徒も多い。市内のかるた文化の裾野は広がっているのではないかと感じている。
委員	句を100枚覚えるのは大変なので、赤札20枚に限定した「チャレンジ・レッド」かるた教室・大会を開催している。将来的に市民のみなさんが赤札の歌をスラスラと言えろという風な形になるといいなと思っている。

委員長	令和10年度に山口県で開催の「全国高等学校総合文化祭」の小倉百人一首かるた部門の会場を、山陽小野田市民体育館で誘致する方向で、現在検討している。
委員	かるた甲子園は、全国的に“かるた聖地”と呼ばれる近江神宮（滋賀県大津市）で開催されている。また、全国中学生選手権大会は、湯島天満宮（東京都文京区）と滋賀県立武道館で開催されており、観光地としても有名である。 このように全国に発信できる新しいかるたのイベントを作り、山陽小野田市といえと言われるような形になるのが理想だ。 また、出前授業やチャレンジ・レッドを通じてかるたを体験して、そこから競技者になる子が現れるのは、なかなか難しいことかもしれないが、さきほどの「全国高等学校総合文化祭」開催までには、今の小学6年生や中学1年生の中から地元の強い選手が育つように競技者を増やす取組も行っていきたい。
事務局	（３）今後のかるた振興に関する取組について 資料2に沿って事務局が説明。
委員	今年度から小中学校の出前教室の内容がレベルアップしたので講師としてもより一層頑張っていきたい。 かるたが出来る環境が、中学校や高校の部活としてあるのは子どもにとっても親にとっても安心してできる環境で良いと思っている。小学校や中学校からかるた競技を始めれば十分強い選手に育つと思う。
委員	きららガラス未来館の万華鏡制作体験の中で、和泉式部の巻紙は小さな女の子に好評で、かるたのPRにもなっている。
委員	和泉式部がテーマのコンテストを開催しても面白いかと。ミス小野田のような。
委員	かるた小冊子についてだが、まずは対象をどこに定めるか。何のために作成するのか。内容は、かるたの歌の意味について学ぶものなのか競技のルールや礼儀のことなのかを決めた方がいいと思う。 学生向けであれば、メインはかるたの歌の意味や背景についての内容の方が手に取りやすいと思うが、百首全て載せるとそれだけ

事務局	予算がかかってしまうので、まずは印刷製本の予算をいくらに定めるか、サイズ感、構成、ページ数など詳しくイメージできるといいと思う。 こちらで一度持ち帰り、協議してまた委員のみなさんに（案）をお示しできればと思っている。
事務局	4 その他 ⇒その他、委員からの意見・質問なし。 （１）次回の開催予定について 次回の会議は３月を予定している。時期が近づいたら日程調整をするので、委員のみなさんの御出席をお願いしたい。 【会議終了】